

# 問題解決的な学習の流れの中で 児童が表現したことを基に思考を評価する

## POINT 1 学習の流れをイメージして「指導と評価の計画」を作成する

単元の目標や評価規準を基にして、いつ、どのような方法で、児童の学習状況を評価するのかといった計画を立てるようにしましょう。(※R1.8月 新教育課程説明会資料等を参考にする。)

	ねらい	○主な学習活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
つかむ	学習問題の解決に向けて、予想や学習計画を立てることができるようにする。 [第2時]	○学習問題の解決に向けて予想を立てる。 ・大名の力を抑えるような政策をしたのではないか。 ・外国の脅威をとりのぞいたのではないか。 ○予想を基に学習計画を立てる。	□ノート □学習シート (学習計画表)	「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 ・発言内容・ノートや学習シートの記述内容 【態-①】
まとめる	調べたことや考えたことを基に、学習問題について文や図にまとめることができるようにする。 [第6時]	○学習問題について調べたことや考えたことに基づいて、幕府の政策と人々の暮らしや社会の様子などについて文や図にまとめる。 ・学習問題に対するまとめ	□これまでに活用してきた資料 □ノート □学習シート	「江戸幕府が参勤交代や鎖国など様々な政策を行ったこと、それらが武士による政治の安定につながったことを理解しているか」を評価する。 ・ノートや学習シートの記述内容 【知-②】

予想や学習計画を立てる場面だから「学習問題の追究・解決に向けて見通しをもとうとしているか」【態-①】を評価しよう!!

調べたことなど文などにまとめて、学習問題について考えをまとめる場面だから、「武士の政治の安定について理解しているか」【知-②】を評価することにしよう!!  
単元目標の実現状況を見取りやすい場面だから、評価したことを記録に残すことにしよう!!

「指導と評価の計画」を作成する際には、特に評価したことを記録に残す場面を予め計画の中に設定しておくなど、効率的・効果的な学習評価を行うことができるような工夫をすることが考えられます。「指導と評価の計画」の例では、評価したことを記録に残す場面を網掛けで明示しています。

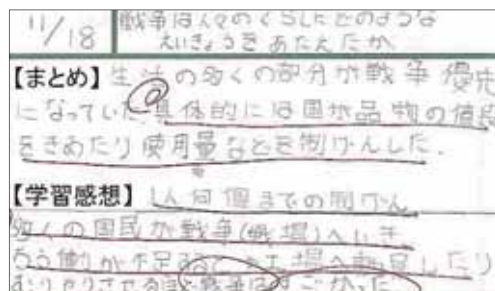
指導と評価の計画では、単元の目標や評価規準を基に、**ねらい・学習活動と評価**が一致しているか確認します。



## POINT 2 考えたことなどを児童が文章で表現する場面で評価する

評価資料として、図表や地図、文章など、児童が表現したものを収集することが考えられます。例えば、1回1回の授業や単元の終末に、学習問題や学習課題のまとめを文章で表現する場面を設け、児童が調べて分かったことや、調べたことを基に考えて分かったことなどを書けるようにし、それを評価規準に照らし合わせて評価することが考えられます。まとめを的確に行うためには、児童が学習問題などを自分の問題として捉えていることが大切ですから、既習の内容や身近な社会的事象から児童の気づきや疑問を引き出し、それらを基に学習問題などを設定するといった工夫をしましょう。

評価の結果、「努力を要する」(C)と判断した児童に対しては、学習内容を確認したり整理したりする機会を設ける、授業の中での声かけの回数を増やすといった支援を行うことが大切です。



▲学習課題のまとめと学習感想をそれぞれ書くことができるようにするために、学習シートを活用した事例です。

# 6学年

## 「幕府の政治と人々の暮らし」

社会科実践事例

単元名：幕府の政治と人々の暮らし

(内容(2)ーア(キ)(サ), イ(ア))



いつ、どのような方法で評価するのかを明らかにする。

### POINT1 学習の流れをイメージして「指導と評価の計画」を作成する

第2時

**ねらい** 学習問題の解決に向けて、予想や学習計画を立てることができるようにする。

**学習課題** 学習問題について予想を立てよう。

**主な学習活動**

- 学習問題の解決に向けて予想を立てる。
- 学習問題や予想を基にして、学習計画を立てる。

#### 【学習評価の実際】

【A児の記入内容の一部】

- ・大名の視点  
幕府が、戦をしない(できない)しくみをつくったと思う。
- ・百姓(人々)の視点  
幕府が、刀狩りのようなことをして反乱を防いだと思う。
- ・外国との関わり  
外国から進んだ技術を取り入れた。(キリスト教を認めたのか調べたい。)

予想や学習計画を立てる場面について「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価した。

A児は、前単元までの学習で用いた視点(立場)や学習内容を基に、江戸幕府が長く続いた理由を予想していた。また、予想を基に単元の学習を通して調べたり考えたりすることを計画していた。こうした姿から、単元の学習を十分見通していると判断し「十分満足できる」状況(A)とした。

スムーズに予想を立てられない児童には、学習問題を設定したときに用いた見方・考え方を示すといった工夫が考えられます。



### POINT2 考えたことなどを見童が文章で表現する場面を設定する

第4時

**ねらい** 資料から武家諸法度や参勤交代などの制度について調べ、幕府の大名支配のしくみを理解することができる。

**学習課題** 幕府はどのようにして大名を従えたのだろう。

**主な学習活動**

- 既習の内容(大名の配置)を振り返る。
- 資料から武家諸法度や参勤交代の制度について調べる。
- 調べたことを基にして、江戸幕府が大名を支配したしくみをまとめる。

#### 【学習評価の実際】

学習課題のまとめを文章で表現する場面を設定し、「必要な情報を集め、読み取り、武家諸法度や鎖国などの幕府の政策について理解しているか」を評価した。

K児は、既習の内容や本時で調べたことなどを踏まえて幕府の政策の様子を記述していることから「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。M児は、調べたことが書かれておらず、「かわいそう」といった根拠に基づかない記述も見られることから「努力を要する」状況(C)と判断した。M児には、参勤交代の様子や大名への影響を質問するなど、前時までの知識の整理を促すようにした。

【K児の記入内容】

幕府は、幕府の領地を増やしたり大名の配置を工夫したりし、さらに参勤交代を定めることで大名の力をおさえ従えていた。

【M児の記入内容】

幕府の大名に対するたくらみが分かった。参勤交代など厳しいことをすると大名がかわいそうだったと思った。

児童が「学習課題に対するまとめ」を意識できるよう、学習課題は黒板などに明示しましょう。

また、学習問題を常に確認できるようにしておくことで、児童が単元のゴール(学習問題の解決)を見通しながら学習できるようにしましょう。



評価したことを指導に生かすことは、単元の全ての時間において大切です。

